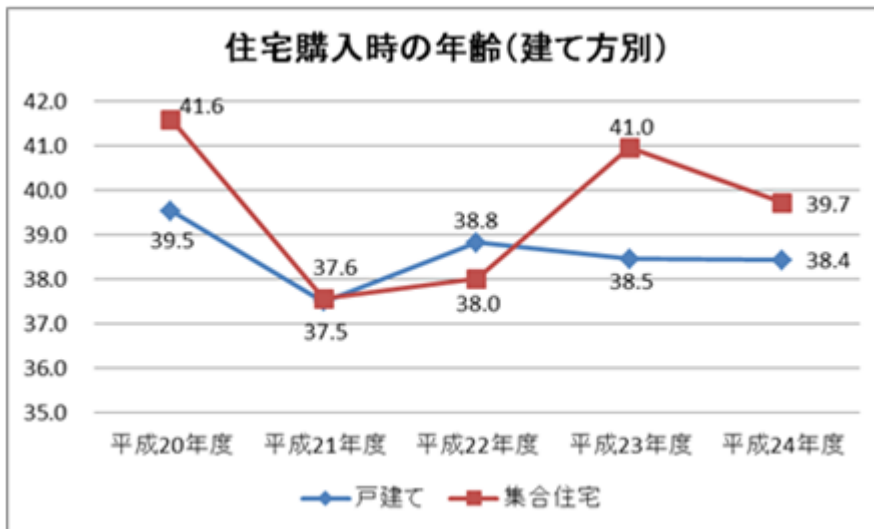
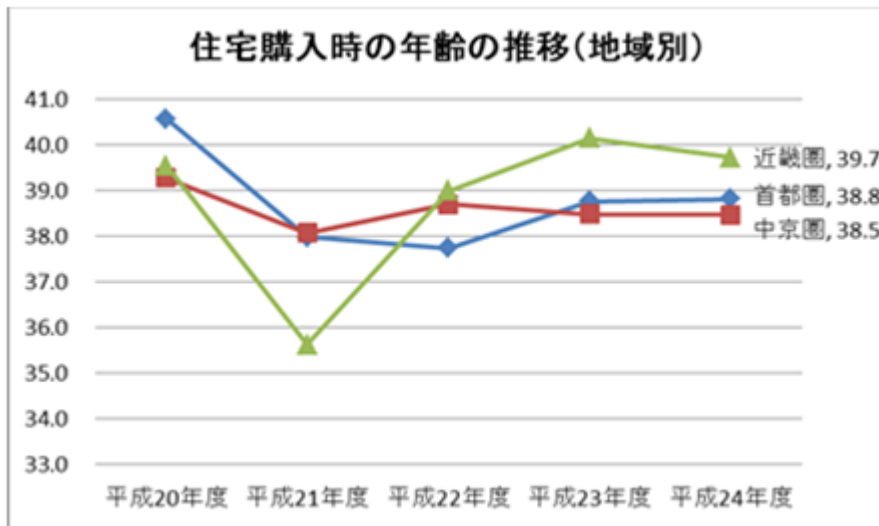
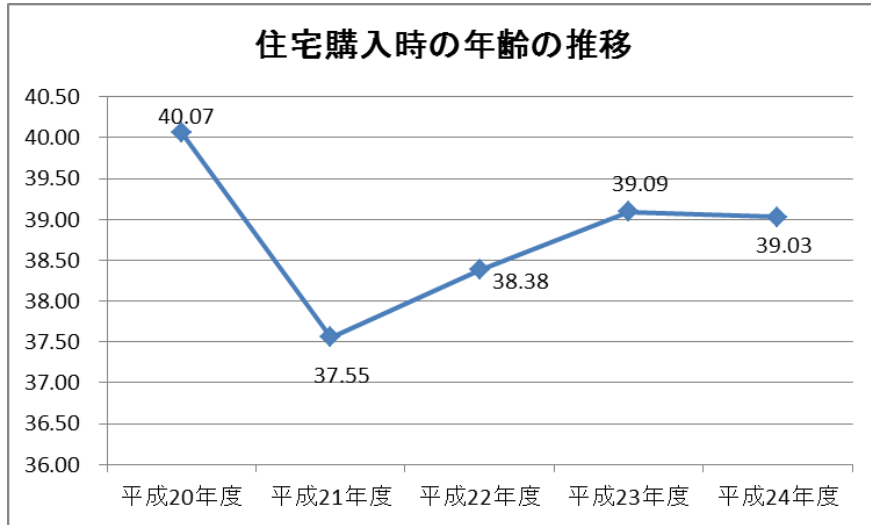
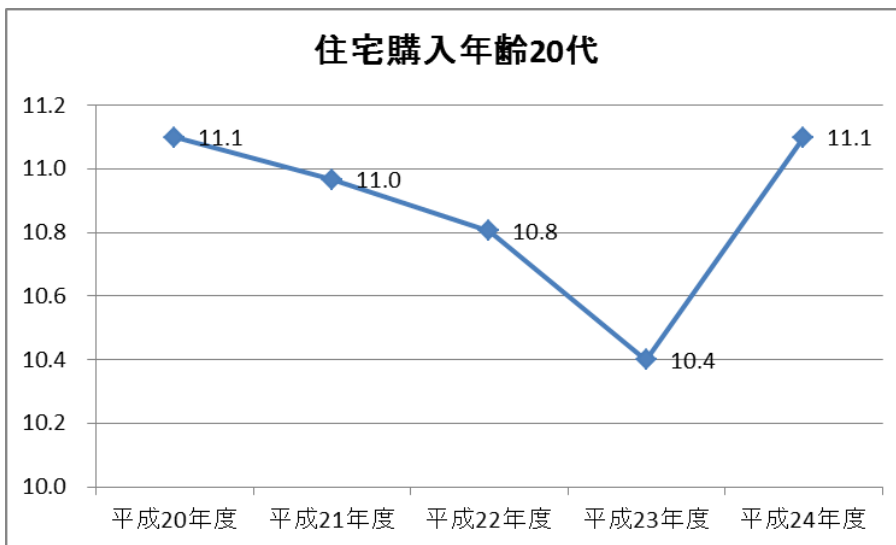
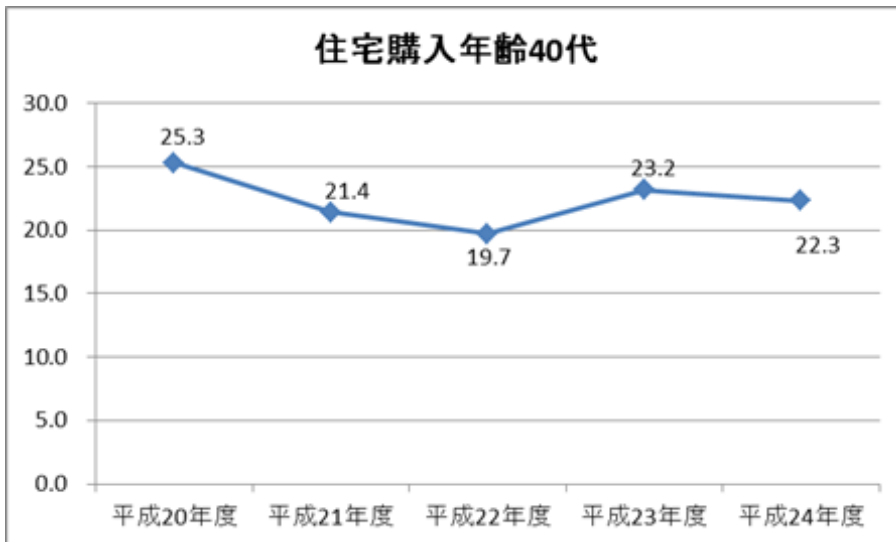
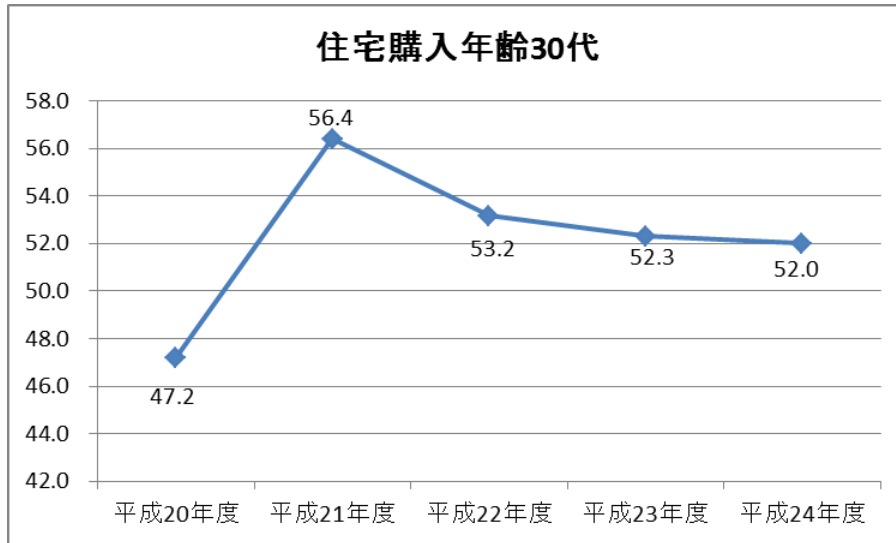


## 分譲住宅購入者の年齢





分譲住宅を購入した世帯主の年齢は 39 歳前後となっています。これは 40 歳という年齢がひとつのふしめになっているものと思われます。

また、建て方では集合住宅よりも戸建のほうが、年齢が若くなっていますが、これは、高齢世帯が買い替えをする際には、手間がかからないマンションを選ぶ傾向があることを表しています。

年代別では 30 代が半数を超えていましたが、若干減少傾向にあります。これは人口ボリュームが多い団塊ジュニア※1 世代の約半数が 40 代に突入していることが大きな要因の一つと考えられます。20 代の購入割合は減少傾向が続いていましたが、平成 24 年度は平成 20 年度と同じ水準まで戻っています。

#### 参考文献等

国土交通省「平成 24 年度住宅市場動向調査」のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成。

#### 用語説明

首都圏 埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県

中京圏 岐阜県、愛知県、三重県

近畿圏 京都府、大阪府、兵庫県

※1 団塊ジュニア 1971 年（昭和 46 年）～1974 年（昭和 49 年）までの間に生まれた世代で、第二次ベビーブーム世代とも呼ばれています。不動産市場は特に人口ボリュームが多い世代が住宅を購入しようとする動きに強い影響を受けます。